

『おくりびと』と『父後七日』、『お葬式』について

簡曉花

應用日語學系

人文社會學院

chienkan88.tw@yahoo.com.tw

摘要

『おくりびと』は第81回アカデミー賞外国語映画賞を受賞した作品で、日本映画史上において重大な意義を持っている。また、そこで扱われているテーマの影響により、人の葬儀関係の職業へのイメージもアップし、またその後、台湾の『父後七日』も「台湾版の『おくりびと』」としてその宣伝効果を見事に収め、やがて、やや早い段階で出品された『お葬式』も再び言及されることとなった。この研究では、この三つの作品に見られる葬儀の傾向、内容や背景を分析し、その差違を比較した上で、作品間にある関係を考察している。

關鍵字：おくりびと、父後七日、お葬式、葬儀